

2022年度 環境経営レポート

対象期間

2021年9月～2022年8月

2022年10月26日

昭和ネームプレート株式会社

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネムプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田 大吉
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネムプレート・パネル・ラベル、樹脂・金属の
プレス加工品の製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約549百万円（2022年度実績）
従業員 47名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネムプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail igarashi@showa-np.com
E-mail seizou@showa-np.com
レイクタウン工場【2018年5月にEA21拡大申請済み】
〒343-0825
埼玉県越谷市大成町7-449-1
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者 瀬田 大吉
代表者 代表取締役社長 大熊浩和
管理責任者 松澤 勝幸

環境経営方針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① ユーザーの要求を満足し、信頼される製品を作る。
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要である。を理念に可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境経営方針を定め継続的に改善します。

1. 産業廃棄物のリサイクル化の強化及び削減の推進
2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
3. 水資源の節水
4. 化学物質の適切な使用と管理
5. 環境関連法規制等の遵守
6. 顧客が要求する環境基準を厳守した製品の製造
7. 長期的にエアコン入替えの推進

2022年9月24日
昭和ネームプレート株式会社
代表取締役 瀬田 大吉

2023(令和4)年度及び中期環境経営目標

			2022年度 2022.9～ 2023.8 (目標.実績)	基準年度 2022年度 (実績) BM	2023年度 2022.9～ 2023.8 (目標)	2024年度 2023.9～ 2024.8 (目標)	2025年度 2024.9～ 2025.8 (目標)
二酸化炭素排出量の削減	CO2の削減	総量 (kg/年)	73409(目標) 70381(実績)	70381	69677 -1%	68973 -2%	68269 -3%
節水	総排水量削減	総量 (m ³ /年)	459(目標) 394(実績)	394	390(1%)	386(2%)	382(3%)
廃棄物量の削減	産業廃棄物の削減	総量 (kg/年)	14834(目標) 17111(実績)	17111	16939(1%)	16768(2%)	16597(3%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg/年)	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
長期的にエアコン入れ替えの推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。			E A会議で検討し部長会議へインプットする。			

(電力：日本テクノ(株)2018年度調整後排出係数0.416 (kg-CO2/kwh) レイクタウン工場は東京電力(株)2019年度調整後排出係数0.455 (kg-CO2/kwh)の換算値を使用。)

- ① Co2排出量、総排水量、産業廃棄物は2022年度実績をBMとし、一般廃棄物については廃棄量が少量の為、目標からは外すが計測は続け維持管理とする。
- ② 中期目標は2025年度が終了した時点で中期目標の見直しをする。
- ③ この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理（棚卸し等）削減にむけて活動する。
 - ・埼玉工場と레이크タウン工場(プレス部) の実績を合算し活動する。

令和4年度(2022.9~2023.8) 昭和ネー

活動部署:営業部・業務部

目標に対して+10%以上の場合には是正処置報告書を発行する

環境経営目標		活動項目	責任者/担当	9月	10月	11月	12月
廃棄物の削減・リサイクル	産業廃棄物量(コピー用紙含む)を1%削減する。	①計測・記録	五十嵐/営業、業務				
		②削減の取り組み	五十嵐/営業、業務				
		③実績評価(中間)	五十嵐/営業、業務			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	五十嵐/営業、業務				
二酸化炭素排出量削減	CO2排出量1%削減	①計測・記録	五十嵐/営業、業務				
		②削減の取り組み	五十嵐/営業、業務				
		③実績評価(中間)	五十嵐/営業、業務			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	五十嵐/営業、業務				
	顧客が要求する環境基準を厳守した製品を作る	①計測・記録	五十嵐/営業、業務				
		②削減の取り組み	五十嵐/営業、業務				
		③実績評価(中間)	五十嵐/営業、業務			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	五十嵐/営業、業務				
	中長期的にエアコンの入替えの推進	①計測・記録	五十嵐/営業、業務				
		②削減の取り組み	五十嵐/営業、業務				
		③実績評価(中間)	五十嵐/営業、業務			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	五十嵐/営業、業務				

活動部署:品証部

目標に対して+10%以上の場合には是正処置報告書を発行する

環境経営目標		活動項目	責任者/担当	9月	10月	11月	12月
廃棄物の削減・リサイクル	生未廃棄物1%削減	①計測・記録	瀬田 / 工藤・大日野				
		②削減の取り組み	瀬田/品証部員				

		③実績評価(中間)	瀬田 / 工藤・大日野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	瀬田 / 工藤・大日野				
二酸化炭素 排出量削減	CO2排出 量1%削 減	①計測・記録	瀬田 / 工藤・大日野				
		②削減の取り組み	瀬田/品証部員				
		③実績評価(中間)	瀬田 / 工藤・大日野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	瀬田 / 工藤・大日野				
中長期的 にエアコ ンの入替 えの推進		①計測・記録	瀬田 / 工藤・大日野				
		②削減の取り組み	瀬田/品証部員				
		③実績評価(中間)	瀬田 / 工藤・大日野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	瀬田 / 工藤・大日野				

活動部署: 製造部

目標に対して+10%以上の場合に是正処置報告書を発行する

環境経営目標		活動項目	責任者/担当	9月	10月	11月	12月
廃棄物の削減・リ サイクル	産業廃棄物(廃プラ 類) 1%削減	①計測・記録	井口/松澤				
		②削減の取り組み	井口/製造部員				
	100%リサ イクル固 形燃料化	③実績評価(中間)	井口/松澤			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	井口/平野				
二酸化炭素排 出量削減	CO2排出 量1%削減	①計測・記録	井口/松澤				
		②削減の取り組み	井口/製造部員				
		③実績評価(中間)	井口/松澤			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	井口/松澤				
水資源の節 水	水使用量 1%削減	①計測・記録	井口/平野				
		②削減の取り組み	井口/製造部員				
		③実績評価(中間)	井口/平野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	井口/平野				
化学物質の管理	化学物質 を正しく使 用し管理 する	①管理の取り組み	井口/製造部員				
		②実績評価(中間)	井口/松澤			○	
		③年間まとめ・評価 来期目標設定	井口/松澤				
中長期的 にエアコ ンの入替 えの推進		①計測・記録	井口/松澤				
		②削減の取り組み	井口/製造部員				

	えの推進	③実績評価(中間)	井口/平野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	井口/平野				

活動部署: プレス部

目標に対して+10%以上の場合には是正処置報告書を発行する

環境経営目標		活動項目	責任者/担当	9月	10月	11月	12月
廃棄物の削減・リサイクル	産業廃棄物(廃プラ) 1%削減	①計測・記録	紺野				
		②削減の取り組み	紺野				
	100%リサイクル	③実績評価(中間)	紺野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	紺野				
二酸化炭素排出量削減	CO2排出量1%削減	①計測・記録	紺野				
		②削減の取り組み	紺野				
		③実績評価(中間)	紺野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	紺野				
水資源の節水	水使用量	①計測・記録	紺野				
		②削減の取り組み	紺野				
		③実績評価(中間)	紺野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	紺野				
中長期的にエアコンの入替えの推進		①計測・記録	紺野				
		②削減の取り組み	紺野				
		③実績評価(中間)	紺野			○	
		④年間まとめ・評価 来期目標設定	紺野				

作成:2022年10月21日

事務局
五十嵐

削減の為の実施事項		
		・再利用可能な紙を両面コピーし使用又はメモ用紙として利用する。 ・パソコンのデータ出力を最小限にする。 ・顧客へのペーパーレス化の周知。
		・休み時間及び人がいないところの照明を切る。 ・効率の良い車利用及びアイドリングをしない。 ・配送ルートの効率化
		材料メーカーより、SDS及びJUMPデータ等を取り寄せ顧客へ情報提供する。
		EA会議で検討し、部長会議へインプットする。

削減の為の実施事項		
		・製品検査不良削減活動 ・段ボール

		の100%リサイクル
		・作業時間外は照明を切る
		・適正な室内温度設定
		・在庫室未使用時の消灯
		・食堂作業の削減
		EA会議で検討し、部長会議へインプットする。

削減の為の実施事項		
		・廃棄物・ダンボールの分別リサイクル
		・包装紙等再利用できるものを活用する。
		・節電(休み時間、使用しない場所の電気を消す)を徹底する。
		・使用していない機械の電源をOFFにする。
		・環境負荷の少ない工法を採用する。
		・節水(オフセットの水使用時に極力絞って使用する。)
		・SDSデータの参照
		・SDS資料の収集
		・使用量の把握
		EA会議で検討し、部長会議

		ヘイン プットす る。

削減の為の実施事項		
		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別リサイクル ・プレス作業時にでる無駄を提言することによる
		<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部分の照明の消灯を徹底する。 ・ガス空調の設定温度を適
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務上使用しないため維持管理とする。
		<ul style="list-style-type: none"> ・EA会議で検討し、部長会議へインプットする。

目標・活動計画と評価

対象期間(2021年9月～2022年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B.M.に対し-4.1% 目標達成 1%目標に対し達成率 104%	BMに対して-4.1%となり目標達成となった。要因はコロナ過の影響で来客訪問回数の減少や新しいエアコンに入れ替えたことが大きな要因と思われる。次年度も過度な節電をすることなくCO2の削減に努めていきたい。
節水	総排水量の削減	B.M.に対し-14% 目標達成 1%目標に対し達成率116%	総排水量についてはBMに対して-14%となり目標達成となった。前年よりも残業時間の減少と各員のエコ意識の高まりにより効率の良い水使用を意識してきた結果がでたと思われる。次年度は今年度の実績をBMとして削減活動をしていく。
廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	B.M.に対し+15% 目標未達成 1%目標に対し達成率86%	産廃についてはBMに対して+15%と目標未達成となった。要因としては身の回りの整理整頓を行ったことや、在庫品の廃棄によってオーバーしてしまった。材料ロスが少ない製法を徹底し各部協力して削減活動していく。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
長期的にエアコン入れ替えの推進	消費電力の違いや電気料金の差額を調べる。	E A会議で検討し部長会議へインプットする。	エアコンを省エネタイプの機種に入れ替えをした。(2台)今後も経年年数の古い機種から入れ替えの推進をしていく。
<p>(総評) 今期は産廃は未達成だったが、CO2排出量、総排水量は達成できた。産廃については、+15%と大幅のオーバーとなったが、要因としては4月にベランダ修繕の際に倉庫内の在庫を破棄したことや身の回りの整理整頓を行ったことが主な要因と思われ、原因がはっきりしている為エコ意識が低下していることではないと安堵した。CO2排出量が目標達成できた要因としては(-4.1%)、コロナウイルスの蔓延防止策に伴い外出規制で車の使用を控えたことや、エアコンの設定温度の遵守を行ったことによって達成できた。総排水量が目標達成できた要因としては(-15%)、二階トイレ工事を行い、新しい節水型のトイレに入れ替えたことによる効果とエコ意識の高まりにより達成できたと思われる。次年度は今期の実績をBMとし極端な削減をすることなくエコ活動に取り組んでいきたい。</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にとっとり、遵守しています。

「埼玉工場・レイクタウン工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場
代表取締役社長 瀬田 大吉
管理責任者 松澤 勝幸
2022.10.25

エコアクション21実施体制(役割・責任・権限)

役 割	責 任 及 び 権 限	備 考
代表者(社長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21の最高責任者とし全ての運用に付いての責任と権限を持つ。 2. EA21の実施、及び管理に必要な人・設備・費用・時間・技術者を提供する。 3. EA21環境管理責任者を任命する。 	
専務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表者の補佐 2. 環境管理責任者への指示 	
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21の構築・運用 2. 環境経営・取り組み結果を社長・専務に報告をする。 3. 環境負荷の特定・環境への取り組みの把握と評価 4. 全体の環境経営目標の承認 5. 各部門目標の承認 6. 全体の環境経営計画の策定・実施状況のフォロー 7. 全社の環境経営管理の統括をする。 8. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 9. 定期内部監査の実施のまとめ 	<p>3カ月毎の部門別確認</p> <p>マネジメントレビュー時の確認</p> <p>毎年1月末</p>
EA21事務局 (推進委員)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21を構築し実施・管理をする。 2. 環境経営目標及び、環境経営計画を作成する。 3. 環境経営レポートの作成 4. 管理ファイル新年度分作成 5. 全体の環境経営計画の策定・実施状況のフォロー 6. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 7. 化学物質使用量の把握 8. 定期内部監査実施 9. 環境への負荷の自己チェックシートの実施 10. 環境への取り組み自己チェックシートの実施後の協議 	<p>事務局長 事務局長</p> <p>3カ月毎の部門別確認</p> <p>マネジメントレビュー時の確認</p> <p>マネジメントレビュー時の確認</p> <p>環境方針・環境経営目標等の見直し 適宜</p>
各部推進委員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門におけるEA21の実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 4. 自部門に関する環境経営目標、及び環境経営計画の実施、及び達成状況の報告 5. 自部門の問題点の発見・是正・予防処置 6. 環境関連法規制の改正及び遵守状況の確認 改正確認は環境省・埼玉県・越谷市ホームページ上、外部情報にて 7. 化学物質使用量計測 8. 環境への取り組み自己チェックシートの実施 	<p>マネジメントレビュー時の確認</p> <p>毎年8月末</p> <p>マネジメントレビュー前(適宜)</p>
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門におけるEA21の実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 4. 自部門に関する環境経営目標、及び環境経営計画の実施、及び達成状況の報告 5. 自部門の問題点の発見・是正・予防処置 6. 防災訓練の実施 	<p>製造部長(消火隊長)</p>

昭和ネームプレート(株)埼玉工場 環境関連法規一覧表及び

	環境法	主な規制内容	関連条項	主な規制対象
大気汚染	フロン排出抑制法 (フロン回収・	フロン類の使用の合理化、及び管理の 適正化	14条	フロン使用製品 (第1種特定製品の該当
騒音	騒音規制法 (埼玉県生活環境 保全条例)	指定地域内特定施設設置者 準工業地域における騒音規制	5条	届出、騒音値
			10条	代表者の氏名の変更等
振動	振動規制法 (埼玉県生活環境 保全条例)	指定地域内特定施設設置者 準工業地域における振動規制	5条	届出、振動値
			10条	代表者の氏名の変更等
悪臭	悪臭防止法 (埼玉県生活環境 保全条例)	指定地域内悪臭原因物質 排出事業者 準工業地域における悪臭規制	7条	悪臭発生物質濃度 基準値以内である
循環	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物の処理方法	2条第5項	特別管理産業廃棄物」とは 施行規則(8条、8条の4の2、8条の20) について(保管、委託契約、マニフェスト
			12条第6項	書面による委託契約の新
			12条の3	マニフェスト票の適正管
			12条の3第7項	越谷市産業廃棄物指導課 毎年4月～3月
	資源有効利用促進法	パソコン・自動車 家電製品の廃棄方法	26条	メーカーへ
家電リサイクル法	エアコンの廃棄方法	6条	メーカーへ	
自動車リサイクル法	自動車の廃棄方法	8条	リサイクル券による処理	
保安	消防法 (越谷市火災 予防条例)	少量危険物貯蔵所の届出	9条の4 (別記第12 30条、31条)	指定倍数0.2以上～1未満
化学物質	PRTR法	1ト未満は届け出不要	4条	トルエン、キシレン、ジクロロメ
	埼玉県生活環境保全条例	0.5ト未満は届け出不要	55条1項	トルエン、キシレン、ジクロロメ
水質汚濁	浄化槽法		10条	清掃
			11条	保守点検

更新確認表

管理責任者	事務局
2022. 8. 30 松澤	2022. 8. 30 五十嵐

	備考	更新確認日
品有)	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
り届出済み 変更後30日以	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
り届出済み 変更後30日以	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
は、政令で定めるものをいう ：水銀使用製品産業廃棄物の適正処理に 等)	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
締結（施行令第6条の2） 管理		2022/8/30
分を6月末日までに郵送または持込		2022/8/30
	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
里	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
崎	毎年8月にインターネット上にて調査 随時	2022/8/30
ン	8月末棚卸時調査	
ン	8月末棚卸時調査	
		2022/8/30

2022年度版

<p>代表者によ評価 及び見直し結果</p>	<p>令和4年度(2021年9月～2022年8月) ECO活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量の削減→目標達成(4.1%) ・節水総排水量の削減 →目標達成(14%) ・廃棄物の削減 →未達成 (+15%) ・化学物質の使用と管理 →正しく管理し正しく使用した。 ・長期的にエアコン入れ替えの推進 →積極的に入れ替えを実施した。 <p>唯一、未達成の廃棄物に関しては、古い在庫、書類、材料を整理している為、社内的にみれば、整理整頓が進んでいる。来期は、達成できるように取り組みたエコへの意識は定着している。継続する事が大事であり、大切であると思いま</p>
----------------------------	--

環境経営方針

変更なし

環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標→変更あり

環境経営計画→変更あり

実地体制

変更なし